

ゆし! のひろげ



宮古島市教育委員会
広報誌

第10号

2014/2/10発行

個性豊かな文化をはぐくみ、一人ひとりが輝く島



特集 宮古島市の学校給食について
～安全で、安心なおいしい給食を!～

宮古島市の教育を語る市民大会開催

体験給食会 (北小学校)

CONTENTS

- ◆ 宮古島市夢実現助成事業報告
- ◆ 宮古島市児童交流事業
- ◆ 図書館レポNo.2
- ◆ Topics
- ◆ わだいの広場

連載1
パニパニ☆スクール
久松小学校「ハッピー朝会」

連載2
文化財を巡る
～新たな先史時代発見の可能性～
ツツピスキアブ発掘調査



安全で、安心な おいしい給食を！

みなさんの栄養を
考えて作っています！



本市では、児童・生徒の心身の健全な発達のため、適切な栄養を摂取し、食に関して正しい理解を深めてもらおうと年間200回の学校給食を提供しています。食材の厳選をはじめ献立、調理、配膳、食物アレルギーへの対応を含め安全・安心なおいしい給食の提供に努めています。

現在、食生活の豊かさから子どもたちを取りまく食の環境が大きく変化する一方で、偏った栄養摂取や肥満、生活習慣病の増加など食生活による健康課題が増えています。

これまで「子どもたちの栄養を改善する」役割を担ってきた学校給食は、バランスのよい栄養の摂取とともに、「食は生きる上での基本」のもと「食育」を推進する役割へと変化してきています。

本市では、5つの共同調理場(平良・城辺・下地・上野・伊良部)で各調理場配属の学校栄養士が成長期に必要な栄養バランスを考慮し、家庭で摂取しにくいカルシウム、ビタミン類、食物繊維を多く摂取でき、バラ

スのとれた食事のお手本となるような給食献立づくりを行っています。

また、宮古や沖縄の食文化についても理解を深めてもらおうと紅芋や黒糖を使った給食も提供しています。

同時に、調理における衛生面や食物アレルギー疾患を持つ児童・生徒への対応など安全性が求められるため、各調理場では徹底した衛生管理に努めています。また、食材に関して毎月市HPで産地・加工地を公表し安全・安心でおいしい給食の提供に努めています。



沖縄・宮古の食文化

給食から沖縄・宮古の食文化への理解を深めてもらおうと、なまりみそや黒糖紅芋などを使って提供しています。

→紅芋ごはん
(伊良部共同調理場)



食物アレルギーへの対応

5つの調理場では、食物アレルギー疾患を持つ児童・生徒に対して集団給食を基本としながら以下のような食物アレルギー対策を実施しています。

- 除去食の提供 ○弁当持参
- 牛乳停止 ○詳細献立表の提供

学校管理栄養士による食育講座

食育の一環として、学校栄養士による食育講座を行っています。これまでに、南小、北小、西辺小などで行いました。

→西辺小学校での食育講座の様子



学校での学校給食にちなんだ活動

市立小・中学校では、「学校給食」にちなんだ様々な取り組みが行われています。

久松中学校 給食完食を目指して「ペロリ」

クラス全体で協力し、給食の完食を目指した「ペロリ」活動に力を入れています。「強い体は食から」の言葉どおり、本校ではスポーツ面で活躍する生徒が多く、食の大切さについて改めて考える機会を増やそうと、1年生への食育講話や親子給食など学校給食週間にちなんだ取り組みをしています。



残さず、食べよう!



←親子給食
↓「ペロリ」表彰



伊良部小学校 学校給食週間として、郷土料理の紹介や給食標語、招待給食を実施しました。招待給食は、日頃お世話になっている学習支援ボランティアの方々を中心に紹介し、各学級での感謝を伝えました。クイズ等も取り入れ、楽しい給食会となりました。

←お世話になっている方々を招待給食



北小学校 全国学校給食記念日となる1月24日(金)、学校給食への理解を深めようと市議会議員を招いての「体験給食会」(学校給食共同調理場主催)が北小学校で開催されました。

議員のみなさんは、子どもたちとの会話を楽しみながら給食を味わい、給食への理解を深めた給食会となりました。

子どもたちと給食会を楽しむ上里樹 議員↑



給食はどやって作られてるの？

子どもの頃「今日の給食、何だろ？」と献立表の前で、給食時間が待ち遠しかった体験はありませんか？
今回は、1日に約4,200人分の給食を作っている平良学校給食共同調理場にて「給食ができるまで」の様子をご紹介します。

1. モンガヲカ、身じたく・手洗い



調理の前には、調理員の体調チェックを行い、身じたく・手洗いをして給食づくりの準備をします。

2. 食材の検収



新鮮かチェック

センターには、野菜や肉、魚など、その日の給食に使用するたくさんの食品が届きます。食品の品質や鮮度、生産地など細かくチェックし記録しています。

3. 食材を洗い、下処理



虫などの異物が付着していないことを確認し、野菜を細かい部分まで、ていねいに洗います。



1日で150kg分のジャガイモの皮むきを手作業でしゅみき

4. 食材の切さい

洗った野菜を料理にに合わせて、機械で様々な形に切ります(角切り、千切り、短冊切りなど)。豆腐などは手作業で切ります。



スライサー



千切り機



角切り機

5. 調理(いためる・揚げる等)



で140cmの大きなしゅせしでかき混ぜています

おかずには、揚げ物、焼き物、蒸し物の調理方法があります。写真(左)は、1つの釜で約900人分作れる大きな釜を使って、カレーを煮込んでいるところです。揚げ物は、フライヤーを使って、揚

げています。また、和え物やサラダは材料をゆでた後、釜の中であわせています。



6. 配缶・配送

できあがった給食を検温した後、各クラスごとに配缶し、コンテナに積み込みます。小学校11校・中学校7校へ向けてコンテナ運搬車で配送します。



検温



配缶



各学校へ配送

7. 検食・クラスで配膳

児童・生徒が食べる前に、おいしく安全であるか、学校職員が検食します。給食当番が配膳し、「いただきます」。



いただきます



8. 回収・洗浄、消毒・保管

給食が終わると配送車で回収し、センターに戻った食器や器具などを洗浄します。洗浄後は、食器を消毒し保管庫に収納します。



学校給食共同調理場メッセージ



学校給食共同調理場
場長 伊良部 和則

本市では、5つの学校給食共同調理場で1日約6,000食の給食を提供しています。今回は、平良調理場を紹介させていただきました。これからも、安全・安心な「おいしい給食」の提供に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。

学校栄養士メッセージ



平良学校給食共同調理場
学校栄養士 伊佐 祐希

みなさん、こんにちは。今回は「給食ができるまで」の様子を紹介していただき、とても感謝しています。給食が沢山の皆さんの手によって支えられていることを少しでもご理解いただけたらと思います。子どもたちの成長を心から願います。今後も安全・安心な給食づくりに努めてまいります。

保護者の方へお願い

学校給食は保護者の皆さんより頂いた給食費で子どもたちに提供しています。引き続きおいしい給食を提供できるよう給食費の納入へご協力をお願いします。

本市では、教育に対する市民の関心と理解を一層深めるとともに、家庭、学校及び地域社会の連携の下に市民全体で教育に関する取り組みを推進し、教育の充実と発展を図ろうと、毎年2月の第3日曜日を「教育の日」として定めています。

平成26年2月16日(日)には教育の日イベントとして、「宮古島の教育を語る市民大会」をマティダ市民劇場にて開催します。宮古高校卒業後現在、日本放送のラジオパーソナリティとして活躍するニッポン放送アナウンサーの 垣花 正 氏、地元の高専卒業後に各界で活躍する方々をパネラーにした公開フリートーク等が行われます。

高校生や中学生、そしてその保護者のみなさまにとっても将来へのチャレンジを考える機会になると思います。多くの市民のみなさまのご来場、お待ちしております。

大会目録

| | |
|-------------------------|----------------|
| 14:40 開会行事 | 15:30 基調講演 |
| 14:55 表彰式(教育功労者・模範児童生徒) | 16:30 公開フリートーク |
| 15:10 本市学力向上推進における報告 | 17:30 閉会行事 |



多くの市民のみなさまのご来場をお待ちしています。

宮古島の教育を語る市民大会

とき 平成26年2月16日(日)
開場 14:00/オープニング 14:30/開会 14:40

場所 マティダ市民劇場

基調講演 垣花 正 氏(ニッポン放送アナウンサー)

公開フリートーク 「夢へのチャレンジ、宮古への想い」
～島力、夢を描こう、今ここから～

コトネーター 垣花 正 氏(ニッポン放送アナウンサー)

出演者 赤嶺 真一 氏(沖縄ヤマト運輸(株)代表取締役)
武島 多加雄 氏((有)たけちゃんぼーむ 代表)
上地 和彦 氏(農事組合法人まるごと宮古島)
平良 麻衣 氏(嘉手納基地第18任務支援大隊)
砂川 隆丈 氏(シエナ・ウインド・オーケストラ)

2月第3日曜日は、
宮古島市「教育の日」です

宮古島の教育を語る市民大会 を開催します!



111点の応募作品の中から選考しました。

標語・川柳作品

教育の日に関連して児童生徒や一般(高校生含む)から学校・家庭教育、社会教育など様々な「教育」の視点による標語・川柳を募集しました。本年度は、3点の最優秀作品と6点の優秀作品が決定いたしました。

今回は、一般の部で初めて川柳を募集したことで、より多くの作品の応募が寄せられました。

**最優秀賞
小学生の部**



北小学校
桜井 真由莉(3年)

**最優秀賞
中学生の部**



平良中学校
具志堅 悠大(1年)

**最優秀賞
一般の部**



宮古高等学校
島尻 優里佳(3年)

優秀賞(小学生の部)

優秀賞(中学生の部)

優秀賞(一般の部)

やすみの日
パパはへんしん
あそびの先生

鏡原小学校
友利 綺良(2年)

早ね早起き朝ごはん
毎日続けば
学力アップ

下地小学校
加賀 政宗(4年)

積み重ね
将来大事な
あなたの荷物

池間中学校
大関 風沙(1年)

「私がやります」の一言が
自分を変える
みんなを変える

狩俣中学校
山内 海輝(1年)

地域力
学び合ってる
三世代

狩俣地区
互野 祐加(一般)

学ぶこと
それは未来を
変えること

宮古高等学校
下地 千早(3年)



パニパニ☆スクール

久松小学校

HISAMATU PRIMARY SCHOOL

ハッピー朝会

久松小学校では、毎月第4週の水曜日に朝の活動として楽しい運動を取り入れた「ハッピー朝会」を実施しています。体を動かすことの楽しさを味わうことで体力の向上を図り、脳を活性化し、学習につなげることを活動の目的としています。また、違う学年で編成した縦割り班での活動を行って交流を深めています。

幼稚園児から6年生の児童を15グループに分け、6年生が中心となり班をまとめ、アルゴリズム体操や折り返しリレーなどゲーム感覚で楽しめる運動を行っています。9月の運動会では、縦割り班対抗のハッピーリレー



1. アルゴリズム体操(左)
2. 風船運びリレー(右上)
3. 縦割対抗ハッピーリレー(右下)



を実施し、幼稚園児→1年生→2年生…とバトンが渡されていく中で園児や児童の発達段階を垣間見ることができました。
(久松小学校 上地洋平教諭)

報告

夢 宮古島市 実現助成事業

夢実現助成事業は、平成24年度から本市児童生徒の人材育成及び教育指導者等の資質向上を図ることを目的として、「宮古島市教育の日」に表彰された者を対象に実施している事業です。1人あたり30万円以内の助成金を交付し、自らプログラムした視察研修を実施してもらおうという制度です。

平成24年度「教育の日」模範児童生徒として表彰された根間すみれさん(宮古高等学校3年)が、8月7日から29日までの23日間、芸術大学への進学を目指しデッサンやデザインを学ぶため、本助成事業により那覇造形美術学院にて夏季講習を受講しました。

本助成事業を振り返り根間さんは、「長時間の集中力で作品が一段と良くなること。苦手なものに根気強く取り組み、努力を継続する大切さや悔しさを味わうことの重要性を学ぶことができた。初めての一人暮らしを体験し、日頃の両親への感謝を感じた」と感想をつづっていました。根間さんはこの夏休み期間の取組の成果もあり、見事沖縄県立芸術大学に合格しています。



Drawing

根間さんが夏季講習中に描いたデッサンの一部。苦手だったデッサンでしたが、夏季講習後半には上位に評価された



今回の児童交流事業は、城辺地区・下地地区の児童らが新潟県上越市板倉区と岐阜県白川町を訪問し、それぞれの地域における歴史や文化を学び、昨年8月よりも一層お互いの交流を深める旅となりました。

宮古島市 児童交流事業

城辺地区 新潟県上越市板倉区 児童交流事業

1月16日(木)~20日(月)の4泊5日の日程で、城辺地区8名の児童(引率2名)が、新潟県上越市板倉区を訪れました。昨年夏以来の再会に緊張した様子でしたが、人頭税廃止に尽力した中村十作氏の記念館見学や学校訪問、各家庭でのホームステイなど4日間を一緒に過ごすことで、さらにお互いの交流を深め、充実した交流事業となりました。



中村十作記念館前



学校訪問にて自分の学校紹介

下地地区 岐阜県白川町 海・山交流事業

1月11日(土)~14日(火)の3泊4日の日程で、下地地区の小学校6年生10名と引率2名が体験交流事業のため岐阜県白川町を訪れました。白川町では横家敏昭町長、瀬瀬政昭教育長の盛大な歓迎を受け、マイナス5度の気温の中、暖かく迎え入れて下さいました。この交流は平成15年度から始まり、昨年8月には白川町より25名の児童が宮古島を訪れ、今回は下地地区の児童が雪深い白川町を訪れ、異なる生活環境を体感し、寝食を共にしながら交流を深めました。



スキー体験



～新たな先史時代発見の可能性～ツツピスキアブ発掘調査

宮古島市で最も古い遺跡は、上野字豊原にあります。ピンザアブです。ピンザアブからは、ミヤコノロジカやイノシシといった現在では宮古島には生息していない動物の骨が出土し、人骨も複数出土しています。この人骨の周辺で確認された炭から約二万五〇〇〇年前という年代測定値がでています。

その後、宮古島で人が生活した遺跡が見つかるのは約二九〇〇年前で、ピンザアブの時代から約二万二〇〇〇年も間が空いており、その間に宮古島に人がいたかどうかは分かりませんでした。

しかし、最近の発掘調査で、その二万二〇〇〇年の空白の期間に人がいた可能性が高いことが分かってきています。その可能性を示してくれたのがツツピスキアブという洞穴です。

ツツピスキアブは、南小学校に隣接する大原南公園内にあり、平成二〇年から現在までに三回の発掘調査を行っており、ツツピスキアブは、宮古島市指定の天然記念物でもあり、シカの化石などが見つかることが分かっていました。洞穴は約八〇mの横穴の洞穴で、現在の入口部分の手前には、洞穴の天井部分がおちて本来の洞穴内部が地表にあらわれている部分(陥没ドリーネ)があります。発掘調査は、この陥没ドリーネ部分を中心に行っており、

発掘調査を進めていくと、現在の地表から約五〇cm下の土から多くのイノシシの骨が出土するようになり、わずかな骨はありますが大型のシカの骨も見つ

かっています。そして、チャートと呼ばれる岩石も複数出土しました。このチャートの岩石が、人が作った石器であるかどうかは、現在も検討中ですが、宮古島にはない石がこの洞穴から出てくることは自然の状態では考えられず、人が持ち込んだ可能性が高いと考えられます。

これを裏付けるような資料が平成二五年の資料整理の段階で見つかり、平成二〇年に出土した大量のイノシシの歯の中に、人の歯が一点含まれていることが確認されました。まだ一点のみの出土であるため、この人の歯自体からの年代測定は行えませんが、イノシシの歯や骨の年代測定の結果から、これらの動物骨や人の歯、チャートの出土する地層が約九〇〇〇年前のものであることが分かっています。

三回目となる現在の発掘調査は、平成二五年十二月から始まり、平成二十六年二月までを予定しています。今後の調査では、この九〇〇〇年前の地層やさらにその下の地層の発掘調査を進めていきたいと考えております。



→ ツツピスキアブ発掘調査の様子

市立図書館では、より図書館や本に興味をもってもらおうと様々なイベントを行っています。今回は12月に開催された3つのイベントの様子をご紹介します。

図書しほ No.2

ぬいぐるみお泊まり会



お気に入りのぬいぐるみが図書館で過ごす様子を職員が撮影し、子どもたちにレポートすることで図書館や本に興味をもってもらおうと、平良図書館では、2月14日(土)から15日(日)にかけて「ぬいぐるみお泊まり会」を行いました。

参加した子どもたちは、その夜お気に入りのぬいぐるみと離ればなれになることを寂しかったり、嫌がる様子を見せていましたが、翌日のお迎えでは、図書館で一晩過ごしたぬいぐるみの様子を納めた写真を興味深そうに見つめていました。お気に入りのぬいぐるみが貸出作業する写真を見て「本当にピシてる！」や「この本読んだの？」など嬉しそうにぬいぐるみに話かけていました。

たまたばこクリスマス会



平良図書館では、12月21日(土)に一早いクリスマス会を行いました。フィンガーアクション「赤鼻のトナカイ」で始まったクリスマス会は、すばなし「ホワイトクリスマス」、エプロンシアター「黄色い衣着たサンタクロース」と続き、最後の人形劇「ヘンゼルとグレーテル」では、いきなり出てきた魔女に子どもたちは驚いていました。

おはなし会の演目が終わると鈴の音とともにサンタさんとトナカイが登場し、プレゼントをもらった子どもたちは嬉しそうに笑顔を見せていました。

クリスマス会



恒例のクリスマス会が、城辺図書館で12月22日(日)に開催されました。おはなしサークル「おっばい」のみなさんによるフィンガーアクション「真っ赤なお鼻のトナカイ」で始まり、読み聞かせ「クリスマスにはおくりもの」、ペープサート「はらぺこあおむし」、大型紙芝居「くれよんさんのけんか」、ブラックシアター(かさじぞう)で盛りあがりました。

プログラム終了後は、クリスマスソングにのせ登場したサンタさんからたくさんの夢と幸せのいっぱいもらったプレゼントをもらい、子どもたちは大喜びでした。

TOPICS



金井喜久子氏

特別展示「金井喜久子展」

市総合博物館では、12月11日(水)から1月12日(日)までの期間に特別展示「金井喜久子展」を開催しました。金井氏は、宮古島出身の作曲家で、日本人女性で初めて交響曲を作曲したことで有名です。西洋音楽の中に沖縄音楽の旋律を入れ、沖縄音楽の素晴らしさを人々に伝えた女性でもあります。

市では、8年前の2006年(平成18年)に「金井喜久子生誕百周年記念演奏会」を行いました。本展示会では彼女のライ



フヒストリーに焦点をあて紹介しました。宮古島出身であるにも関わらず、地元の人々にあまり知られていない金井氏でしたが、来館者の方々からは、「こんなにすごい人が宮古にいたと知らなかった」「もっと地元の子供達にも見てもらいたい」という声をいただきました。

明治・大正・昭和という激動の時代の中、まっすぐに自分の信じる道を歩んできた姿が、多くの市民の皆様やこれから未来へと歩む子供たちの心の中に光を与えるきっかけになったことと思います。

平成26年宮古島市成人式

平成26年宮古島市成人式が、1月5日(日)に平良・城辺・下地・上野・伊良部の各地区で一斉に挙行され、665人が新成人となり晴れて大人の仲間入りをしました。

平良地区では、式典前のオープニングセレモニーとしてお祝いのメッセージが中学生時代の恩師からビデオレターで寄せられ、舞台アトラクションでは「宮古真太陽金管バンドクラブ」による演奏、「男塾武-Doo」による創作エイサー、「SSK」によるオールディーズの生演奏で盛り上がりました。

式典では、5人の新成人代表者が壇上に上がり、新成人と



しての抱負を「はたちの決意表明」として発表しました。ロビー内では、新成人に寄せられたお祝いメッセージが展示され、また、両親やお世話になった方へ感謝の手紙を贈るボックスコーナーも設けられ、新成人の皆さんがそれぞれの思いを手紙につづっていました。

なでしこジャパン代表選手 夢のプロジェクト 学校訪問、サッカークリニック 体幹・メンタルトレーニング教室

1月17日(金)から20日(月)の4日間、2011FIFA女子ワールドカップで日本の優勝に貢献した大儀見優季選手、鮫島彩選手、そして本県出身の高良亮子選手のなでしこジャパン代表選手が自主トレのため宮古島に来島しました。

世界のトップアスリートと間近に「感じる・触れ合う」ことができる絶好のチャンスと捉え、関係団体と連携し、学校訪問やサッカークリニック、体幹・メンタルトレーニング教室を行いました。来島初日には、3選手それぞれが平良第一小学校、東小学校、北中学校を訪問し、「夢や目標を設定し努力することの



大切さ」など児童・生徒にメッセージを送ってくれました。その後、3選手は前福運動場で小学生から高校生の女子サッカーメンバーと一緒に自主トレを兼ねてウォーミングアップやミニゲームを楽しみ、世界を制した一流の技とアドバイスに子どもたちは目を輝かせていました。

1月19日(日)には、市民や選手、指導者等を対象に「体幹・メンタルトレーニング教室」も行われ、200名余の参加者が専門的なトレーニング方法などを熱心に習得していました。

宮古島市子ども劇団第1回オリジナル創作劇

はしり星にのって～あの空となり 海となり～

1月26日(日)に宮古島市子ども劇団第1回オリジナル創作劇が2回公演で上演され、多くの市民のみなさんに感動を与えました。

オリジナル創作劇「はしり星にのって」は、100年に1度の大流星群の日に、かつて貴重な水場であったウリガーに偶然にも次々と小学生から大学生の子どもたちが集まり、洞窟の中から聞こえてくる鳴き声を辿ると…100年前人頭税が重くのしかかる時代の宮古へタイムスリップしてしまい、そこでの宮古の人々との触れ合いから子どもたちの心が変化し、成長していく姿を描いた作品です。方言を交えたセリフに時折会場



から笑い声が聞こえたり、ポップな音楽にのせたクイチャーやダンスが劇を盛り上げ、子どもたちは昨年4月から稽古に励んだ成果を堂々と発表しました。

上演後、劇団員の堂々とした演技になりやまない拍手が送られ、鑑賞に訪れた方は「子どもたちの演技力に感動した。舞台美術・音楽も良くて、こんなにしっかりした劇とは思わなかった。楽しく観ることができた」とコメントしていました。

第5回子ども博物館

「野草の観察会と野草料理」



市総合博物館では、12月1日(日)の午前9時から午後1時まで、第5回子ども博物館「野草の観察会と野草料理～野草ハンバーグを作ってみよう～」を開催しました。

講師の川上勲氏が食べられる野草の講話を行った後、実際に博物館周辺の食べられる野草を観察・採集し、採集した野草を使って野草ハンバーグを作りました。子どもたちは「身近にある植物が食べられると思わなかった」、「こんなにおいしいハンバーグができてよかった」と感想を話していました。



第2回宮古島市社会教育団体研修会「地域の防災」



沖繩国際大学
経済環境研究所特別研究員
稲垣 暁氏

11月24日(日)に城辺公民館にて、「防災・減災」をテーマに社会教育団体研修会を開催しました。講演会とワークショップが行われ、沖縄国際大学経済環境研究所特別研究員の稲垣暁氏が「防災福祉と地域減災～コミュニティーネットの役割」を演題に講演を行いました。

講演会後は、地域ごとに分かれワークショップを行い、災害発生後の時系列に沿って想定される状況と課題について話し合いました。災害時の課題対処方なかなか見つからず、事前に災害時の状況を想定し、対処方を考える必要があることが分かり、社会教育団体の連携・資質向上を図る研修会となりました。



平成25年度教育委員会 定例会の開催状況

第8回(11月26日)、第9回(12月26日)定例会、第5回臨時会(12月5日)が開催されました。

第8回定例会では、下地中学校・来間中学校統合協議会の経過報告が行われたほか、一般会計補正予算(第5号)について説明報告が行われました。

第9回定例会では、教育委員会職員服務規程の一部を改正する訓令、学校区審議会委員等について審議が行われ、提案どおり可決されたほか、平成26年度一般会計予算につ

いての要求状況が報告されました。

第5回臨時会では、任期満了による委員長・委員長職務代理者の選挙が行われ、宮國博委員長、佐平博昭委員長職務代理者が再任(任期1年)されました。12月4日任期満了の宮國博委員、佐平博昭委員については、11月20日に開催された宮古島市議会臨時会において教育委員として同意がされ、12月5日に宮古島市長より辞令が交付されました(任期:平成29年12月4日)。両委員は再任にあたり記者会見を開き、「学校教育の充実」「子育て環境の改善・整備」等について決意を示しました。

第5回臨時会では、任期満了による委員長・委員長職務代理者の選挙が行われ、宮國博委員長、佐平博昭委員長職務代理者が再任(任期1年)されました。12月4日任期満了の宮國博委員、佐平博昭委員については、11月20日に開催された宮古島市議会臨時会において教育委員として同意がされ、12月5日に宮古島市長より辞令が交付されました(任期:平成29年12月4日)。両委員は再任にあたり記者会見を開き、「学校教育の充実」「子育て環境の改善・整備」等について決意を示しました。

平成25年度市立小・中学校卒業式日程

平成25年度市立小学校・中学校卒業式を以下の日程で開催します。



小学校

- 3/19(水) 鏡原・宮原・狩俣・西城・上野
- 3/20(木) 北・南・東・久松・西辺・城辺・福嶺・佐良浜・伊良部
- 3/21(金) 平良第一・砂川・下地
- 3/24(月) 宮島

中学校

- 3/9(日) 平良・佐良浜
- 3/11(火) 北・池間小中・西城・砂川・下地
- 3/12(水) 久松・鏡原・西辺・狩俣・城辺・福嶺・来間小中・上野・伊良部



2月・3月の行事予定

- 宮古島の教育を語る市民大会
2月16日(日) / マティダ市民劇場
- 第26回企画展
「宮古島のルーツを探るPart2-無土器時代の宮古-」
2月13日(木)～3月16日(日) / 市総合博物館
- マティダライブ
2月23日(日) / マティダ市民劇場
- 第6回子ども博物館「宮古馬を学ぼう・閉会式」
2月23日(日) / 市総合博物館
- 南の島から世界に響け! 宮古島の子供達が一度に歌ったら!?
2月23日(日) / 中央公民館野外ステージ
- おはなしたまてばこ・おはなし会
平良図書館/毎週土曜日(3/29休) 城辺図書館/第1日曜日

市総合体育館・陸上競技場利用スケジュール

市総合体育館

H26.2.3現在

- 2/22(土) 宮古テレビ杯学生ダブルスバドミントン大会
- 2/23(日) 第2回春季9人制バレーボール大会
- 3/ 2(日) 第62回レディースバドミントン大会
- 3/ 8(土)・9(日) 第25回協会設立バドミントン大会
- 3/23(日) ミズノ杯バレーボール大会

陸上競技場

- 2/22(土) 第32回全宮古小学校駅伝大会

※ 施設使用の詳細は、市民スポーツ課までお問い合わせ下さい。

市民スポーツ課 ☎73-4469 (月曜休み)

編集後記

北小学校で給食会取材をする際、給食の準備をする姿、給食を食べる姿を見ながら、小学校時代の自分自身の給食の時間を思い出し、懐かしい気分になりました。

子供たちの給食については親子給食を開催している学校もありますので、ぜひ参加してみてください。

担当:教育総務課